

# 第9回公徳杯少年少女剣道大会

公徳杯少年少女剣道大会が10月8日、熊本市中

武道場「振武館」で行われ、9回目の今大会には、

## 男子 龍驤館、7度目V 女子 飽田クが3連覇 低学年 日本道場に初栄冠

男子29、女子13、低学年36の計78チーム、約300人が参加しました。男子(5人制)は、決勝で龍驤館Aが承道館Aを破り、2年ぶり7度目の優勝を果たしました。3位は北部少年剣道クラブAと順道館Aでした。女子(3人制)は、飽田少年剣道クラブが3連覇。2位は玄武館少年剣道クラブ、3位は小島剣友会と順道館A。低学年(3人制)は、日本道場が初優勝し、2位は玄武館少年剣道クラブA、3位は白坪剣道愛育会Aと順道館Bでした。会場には、朝早くから多くの保護者や友人らが応援に駆けつけ、選手たちは盛んな声援を受け熱戦を展開。終日、元気の

### 優勝チーム

#### 男子の部

龍驤館A  
(北山凜桜、上田菜々美、吉田和真、林優大、河野悠斗)

#### 女子の部

飽田少年剣道クラブ  
(柴垣光結、木村愛葵、厚地華夢)

#### 低学年の部

日本道場  
(本田道也、吉松龍伸、宮村颯那)



盛んな声援のなか熱戦を展開する選手たち



# 自分の身を守る技学ぶ

## 振武館で「護身術教室」

不審者に襲われた際、自分の身を守るための「護身術教室」が7月28日と8月4日、熊本市中央区上通町の振武館で開かれました。一般財団法人熊本公徳会が夏休みに毎年開いており、小中学生と保護者、計124人が参加しました。指導をしたのは、振武館の荒木幸一・道場師範、川邊五郎・剣道師範、開田豊喜・柔道師範の3人。



まず荒木師範が「危険な状況をつくらぬのが第一。相手にすきをみせず、用心深くならう」と呼び掛け、襲われたら大きな声を出し、助けを求めるようアドバイスしました。

実技訓練ではまず、けがをしないための受け身を練習。引き続き、相手が突いてきた時のさばき方、手をつかまれた時の外し方、前

て何度も練習。「難しかったけど楽しかった。いろいろな技を学べて良かった。家に帰ってからもうやってみよう」と話していました。

手をつかまれた際の、さばき方を教わ

る子どもたち(7月28日) 肩をつかまれた時、けりを入れる練習をする参加者(8月4日)

## 月2回 竹刀交え汗流す

### 江原剣友会



### 利用団体 紹介

熊本高校の同窓会を「江原会(ごげんかい)」と言います。剣道部のOB会は、それにちなみ「江原剣友会」です。剣道部そのものの歴史は古く、旧制熊本中学校時代からあったのですが、正式にOB会組織として発足したのは昭和60年代

です。初代会長は故中山紀雄先輩で現在は2代目の野口慎一郎先輩が10年近くこの会を引っ張っておられます。発足当初は、まずこの会で試合に出よう、その

武道場や、現在の体育館内にある武道場で稽古を続けてきました。しかし、近隣からの苦情があり、母校での稽古会を中止せざるを得なくなりました。そこで、現在は「振武館」で、毎月第2と第4金曜日の夜7時半から1時間ほど、竹刀を交え汗を流しております。稽古の後には「第1道場」と称し、近くの居酒屋に集合して写真、剣道だけでなく、時には政治や人生談義に花を咲かせています。 江原剣友会 田ノ上輝

## 座禅会を開催 無心の境地に

### 振武館剣道教室

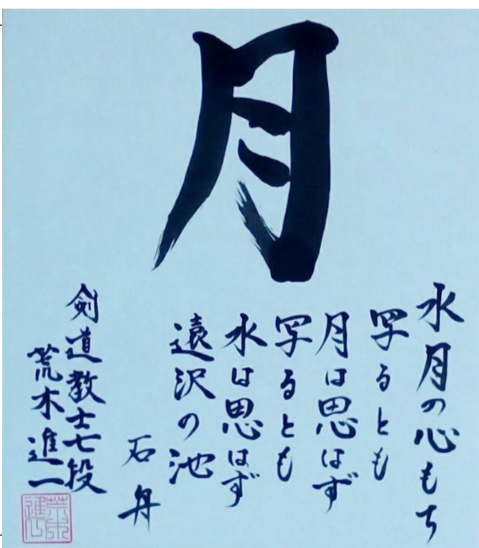
振武館剣道教室は8月25日、熊本市西区松尾町の靈巖禅寺で座禅会を行いました。

座禅をすることで剣禅一致の心を知り、大きなことに直面してもたじろがず、悠々と対処できるよう無心の境地になる方



法を学ぼうと実施。座禅会には振武館で剣

座禅の後、靈巖洞を参拝し心身ともすっきり



### 武道への一文字

「勝負は、迷いや欲を超えた無心の境地によって制することができる。心に迷いがなければ、相手は心の動きを読むことができず、自分は相手の動きを読むことができる」などと、座禅の効用についての説明があった後、子どもたちや保護者らは神秘的な面もちで座禅を体験しました。

また、寺の住職の講話を聴き、靈巖洞を参拝し

座禅の後、靈巖洞を参拝し心身ともすっきり

た後、洞の前に並び全員で素振りの練習をして汗を流しました。

### 振武館のついで

▼振武館は開館85周年の記念行事として今年、県内3カ所「ちびっこ剣道教室」を開きました。各保育園・こども園ともそれぞれ3回行いましたが、ほとんどの子が竹刀を握るのは初めてだったので、回を重ねるごとに上達。礼儀作法もちゃんとできるようにしました。そして何より、楽しそうでした。一方、「公徳杯少年少女剣道大会」では、低学年の部に多くのチームが参加、そのレベルは高いものがありました。幼い時から武道に親しめる環境づくりを大切にしたいものです。

また、寺の住職の講話を聴き、靈巖洞を参拝し